

はちまたい

議会だより

HACHIMANTAI GIKAI DAYORI

No. **4**
2006年7月27日



主な内容

- 会派制度・政務調査費を導入 2
- 6月定例会を開催 4
- 一般質問に11人が登壇 8

6月定例会初日の6月14日には、西根地区や松尾地区の女性を中心に、26人が傍聴しました



調査費を導入

会派制度

**基本的政策が
一致する団体**

市議会6月定例会で、会派制度と政務調査費の導入が決まりました。これらは、議員の資質向上と議会の活性化のために導入されたもので、会派は、基本的政策が一致する議員で構成され、調査研究を基に、市政に提言などを行うことが期待されます。また、政務調査費は、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、議員1人当たり月額2万円が市から各会派に交付されます。

会派制度とは、基本的政策が一致する議員の団体であり、一般的には、複数の議員で構成。1人会派を認めている自治体もあります。が、本市議会では、原則として3人以上の議員で構成することとしています。

各会派は、構成議員で市政に関する調査研究を行うとともに、その成果を基に、市政に対して提言などを行うことが期待されるほか、今後は、市議会定例会における代表質問の導入により、議会運営の活性化と効率化が期待されます。また、議員数の多い議会では、意見調整が必要な事項について、

会派代表者による意見集約ができるなど、会派を単位とする能率的な運営が期待できます。一方、議員個人の顔が見えにくくなるなどの短所もあるため、今まで以上に議員一人一人の活動に気を配る必要があります。

なお、会派制度の導入については、昨年5月12日に発足した八幡平市発足議会運営準備委員会（3町村の議会議員30人で構成）などで、その在り方や運営方法などが検討されてきました。合併前の3町村では、旧安代町で平成14年から会派制度を導入。県内では、奥州市を除くすべての市と、滝沢村など一部の町村で導入していて、奥州市でも会派制度導入に向けた検討が進められています。

表1 会派の名称と所属議員

会派の名称	議員数	代 表 者	議 員 氏 名	会派の名称	議員数	代 表 者	議 員 氏 名
せい こう かい 政 高 会	8人	松浦博幸	工藤忠義、瀬川健則、田中榮司夫、田村孝、遠藤公雄、渡邊正、工藤剛	はっ き かい 八 起 会	6人	高橋 守	勝又紘一、三浦正信、小笠原壽男、小野寺昭一、工藤直道
りょくしょうかい 緑 松 会	5人	大和田順一	高橋光幸、伊藤一彦、高橋俊彦、古川津好	みん せい かい 民 政 会	3人	三浦榮吉	関義征、関善次郎
にほんきょうざんとう 日本共産党	3人	米田定男	山本榮、高橋悦郎	無 会 派	1人		北口和男

政務調査費
**研究や活動の
必要経費交付**

政務調査費とは、議員の調査研究に資するために必要な経費の一部として、市から会派または議員に対し交付されるものです。

政務調査費の交付については、地方自治法で規定されていて、政務調査費を交付しようとする場合、交付対象、額および交付の方法を条例で定めなければなりませんとされています。

このため、市議会では、6月定例会会期中の6月16日に、発議案「八幡平市議会の政務調査費の交付等に関する条例の制定について」を提案。全会一致で可決されました。

表2 県内各市の比較

	議員報酬	政務調査費
盛岡市	650,000円	50,000円
宮古市	320,000円	5,833円
大船渡市	320,000円	7,000円
花巻市	339,000円	20,000円
久慈市	303,000円	5,000円
釜石市	313,000円	12,500円
遠野市	302,000円	5,000円
一関市	342,000円	15,000円
陸前高田市	285,000円	7,500円
二戸市	301,000円	10,000円
奥州市	321,000円	12,000円
北上市	351,000円	20,000円
八幡平市	217,000円	20,000円

*議員報酬は一般議員の月額
*政務調査費を年額で交付している市は、月額に換算

交付の対象などは次のとおりです。

▼交付の対象 議長に届け出があつた会派または議員の職にある者

▼交付額 議員1人当たり月額2万円

▼交付の方法 当該年度の月数分を一括交付

▼使途基準 表3に規定のとおり

▼収支報告書 年度終了日から30日以内に提出

▼剰余金の取り扱い 市に返還しなければならない。

なお、県内では、盛岡市の月額5万円をはじめとして、すべての市で政務調査費を交付しています。県内全市議会議員の平均交付額は、月額およそ1万7000円となっています（内訳は表2のとおり）。

6月定例会で決定

会派制度・政務

表3 政務調査費の使途基準

	項目	内容	種類
支出 できる 経費	1、調査研究費	調査または議員が行う市の事務および地方行財政に関する調査研究ならびに調査委託に要する経費	調査委託費、交通費、宿泊費、車借上料
	2、研修費	会派または議員が行う研修会、講演会の実施に必要な経費ならびに他団体が開催する研修会、講演会などに所属議員が参加するために要する経費	会場費・機材借上料、講師謝金、参加費・会費、交通費、宿泊費、資料代、車借上料
	3、会議費	会派または議員における各種会議に要する経費	会場費・機材借上料、資料印刷費、茶菓子代
	4、資料作成費	会派または議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費	印刷製本代、原稿料
	5、資料購入費	会派または議員が行う調査研究のために必要な図書・資料の購入に要する経費	書籍購入費、雑誌購読料
	6、広報費	会派または議員が行う議会活動および市政に関する政策などの広報活動に要する経費	広報誌・報告書などの印刷費
	7、事務費	上記に掲げる経費以外の経費（経費を支出する目的が、会派または議員が行う市政に関しての調査研究に該当しないものを除く）	
支出 できない 経費	経費を支出する目的が、会派または議員が行う市政に関しての調査研究に該当しないもの	1、せん別、慶弔、寸志、病気見舞い、年賀状の購入および印刷代金などの交際費的な経費	
		2、党費、党大会賛助金、党大会参加費、党大会に参加するための旅行などの政党または政治団体の構成員としての活動に属する経費	
		3、飲食に係る経費	
		4、選挙活動に係る経費	
		5、名刺の印刷代金	

6月定例会

第3セクターの経営状況を報告

徹底して再建に努力



安代地区老人クラブの皆さんが議場を見学しました（7月11日）

市議会6月定例会は、6月14日から19日までの日程で開催されました。今回の定例会では、株式会社コスモプラザ西根をはじめとする第3セクター4社などの経営状況報告が行われたほか、八幡平市税条例の一部改正、八幡平市友好都市交流促進センターなど12施設に係る指定管理者の指定、平成18年度一般会計や特別会計の補正予算など、合わせて30の議案が提案され、全議案が原案のとおり可決されました。第3セクター各社の経営状況について田村正彦市長は、「統合も含めた合理化も視野に入れて、徹底して再建に努めていきたい」と述べました。

全会一致で可決したもの

▼普通財産の無償貸付に
関し議決を求めることにつ
いて

旧荒屋小学校の一部を、引き続き後藤秀夫氏（ゴトウ・シユウの名前で活動する芸術家）へ無償で貸し付けるもので、絵画制作や展覧会開催、絵画教室の開催など、文化活動の場にする
こととしています。

▼交通事故事件に係る示談
をするに
関し議決を求
めることにつ
いて

2月9日に安代で発生した、市所有のスクールバスと一般車両との物損事故に係るもので、過失割合は、市が100%です。なお、損害賠償金額9万2389円は、市町村総合賠償保険制度で補てんされます。

▼八幡平市友好都市交流促

進センターほかに係る指定
管理者の指定について

それぞれ、表1のとおり
指定管理者を指定しようと
するものです。

▼八幡平市農業委員会条例
の一部を改正する条例

8月31日に農業委員の在
任特例期間が満了し、選挙
による委員定数が41人から
30人に減少するのに伴い、
部会の数と各部会の委員定
数を見直すものです。

▼平成18年度八幡平市一般
会計補正予算（第1号）

歳入歳出それぞれ1億6
371万円を追加するもの
です。補正の主なものは、
市議会政務調査交付金52
0万円、保育所運営業務委
託料1443万円、いわて
農業担い手支援総合対策事
業費補助金3300万40
00円、大更地区コミュニ
ティーセンター設計業務委

表1 各施設における指定管理者

施設の名称	指定管理者の名称
八幡平市友好都市交流促進センター	株式会社松尾ふると振興公社
安代福祉センター	社会福祉法人 八幡平市社会福祉協議会
西根福祉の家	
松野児童館	
寄木児童館	
柏台児童館	細野自治公民館
八幡平市細野地区農村婦人の家	
八幡平市細野地区農作業準備休憩施設	豊畑公民館
八幡平市横間地区農作業準備休憩施設	八嶋ましら郷土づくり協議会
八幡平市星沢地区農村環境管理施設	星沢自治公民館
八幡平市西根地区体育館ほか16施設 (西根地区5施設、松尾地区7施設、 安代地区5施設)	社団法人八幡平市体育協会
八幡平市田山射撃場	八幡平市ライフル射撃・バイアスロン協会



問 託料414万円などです。
答 民生費の包括支援センター費で、在宅介護支援センター業務委託料が585万円の減額となった理由は、在宅介護支援センターに業務委託の予定だったが、同センターが手いっぱいのため、委託料から賃金に予算を組み替え、市で臨時職員としてケアマネジャーを採用し、介護予防プランや家族の支援などを行うものである。

問 安代地区の粗大ごみ収集方法が昨年と違う点があるが、何か不都合な面があったのか。
答 収集に相当苦労したこともあり、その反省の上に立ち、回数を少し減らし、収集する品目も最も多いものに集中し6品目とした。西根老人憩いの家の運営

に当たって、臨時職員を採用することは、非正規雇用であり問題だ。市がこのような不安定雇用にかかわることへの見解は。
答 今後、総務課とも検討し、市としてできる限り考慮していきたい。

問 大更小学校の学童保育の利用希望者が、以前100人を超えていたが、大更公民館1階では狭くないか。
答 2、3年前に取った希望よりかなり実数は減っている。運営状況を見ながら判断し、学童保育的な面と、児童館的な面に適応できる役割も併せ持った学童施設が必要と考えている。

問 安比高原の住所統一については、18年度中に完全に直したいという話だったが、どうなっているか。
答 現在は、一部が八幡平市細野、一部が八幡平市松尾第1地割になっている。地区関係者100人を超える方々の総意として、八幡平安比高原として全国に発信したいという希望がある。地域住民との懇談なども行い、実現に向けて手順を踏んでいるところである。

問 市のホームページに物



旧松尾村と旧安代町にまたがる安比高原。地区住民から、住所を「安比高原」に統一してほしいという要望が出されています

足りないという声があるが。
答 既に人的体制も整えているので、早急に改善に取り組んでいく。

▼平成18年度八幡平市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出を、それぞれ28万4000円追加するものです。

▼平成18年度八幡平市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出を、それぞれ42万3000円減額するものです。

▼平成18年度八幡平市国民健康保険特別会計(診療施設勘定)補正予算(第1号)
歳入歳出の総務費から医業費

▼八幡平市索道事業特別会計補正予算(第1号)
歳入歳出を、それぞれ15万1000円追加するものです。

問 882万5000円を組み替えるもので、補正の主なものは、医薬材料費856万7000円です。
答 18年度が始まって2カ月しか経過していない中、医薬材料費が当初予算の約2割近い18%増額の補正をする理由は、医薬品が急に増えていることと、当初予算で少なめに予算計上していた分を今回補正して、適正な医薬材料の購入に充てるものである。



最近、社会問題となっている児童虐待に万全を期すため、市では八幡平市要保護児童対策地域連絡協議会（菊田 晃 会長）を設立しました（6月27日）

▼八幡平市国民健康保険西
根病院事業会計補正予算
（第1号）

収益的収入支出それぞれ
506万7000円を減額
するものです。

▼八幡平市水道事業会計補
正予算（第1号）

上水道事業費用の収益的
支出を518万2000円
追加するとともに、簡易水
道事業費用の収益的支出を

646万2000円減額す
るものです。

▼八幡平市診療所設置条例
を廃止する条例

診療施設の効率的運用に
資することを目的に、松尾
診療所と松尾歯科診療所を
民間の医師に貸与するため、
当該施設を行政財産から普
通財産にするものです。

▼普通財産の無償貸付に関
し議決を求めることについて

地域住民の医療の確保と
福祉の増進を図るために、
松尾診療所と松尾歯科診療
所を、無償で民間の医師に
貸し付けるものです。

▼松尾中学校屋内運動場建
設工事の請負契約の締結に
関し議決を求めることにつ
いて

松尾中学校屋内運動場建
設工事の請負契約を、みら
い建設工業株式会社・株式
会社高建工業特定建設工事
共同企業体と締結しようと
するものです。なお、契約
金額は3億4524万円で
す。

問 入札後の予定価格を公
表できない理由は。

答 入札調書は一般にも公
開している。公開しないと
した県内他市の一般的流れ
に沿ったものである。

問 入札に市内の業者だけ
の指名はできなかったのか。

答 決して無理ではないが、
立派な工事をしてもらう観
点から、今回については共
同企業体に発注した。

賛成多数で可決したもの

▼八幡平市税条例の一部を
改正する条例の専決処分に
関し承認を求めることにつ

いて

個人市民税における均等
割の非課税所得基準を、17
万6000円から16万80
00円に、8000円引き
下げるものです。

問 低所得者への増税とい
う中身であるが、所得割分
と合わせるというくらいか。

答 対象者が300人程度
で、金額で150万円程度
と考えている。

▼八幡平市老人憩の家条例
の一部を改正する条例

障害者を高齢者と同じ区
分とするなど、使用時間、
使用区分および無料規定を
改正するものです。なお、
使用時間や使用料などは表
2のとおりです。

問 西根老人憩の家を老人
クラブで利用する際に徴収
する入湯税は、今までどの
ような取り扱いをしていた
のか。

答 管理委託先の福祉施設
協会の委託料に、入湯税分
を上乗せして補助すること
により、老人クラブでの利
用は無料としていた。合併
時の調整措置であったもの
を改めて、通常の取り扱い
とするものである。

問 安代老人憩の家は、温

表2 老人憩の家における使用時間や使用料など

西根老人憩の家	使用 時 間		午前 9 時から午後 8 時まで（入浴時間は午前 10 時から午後 8 時まで）			
	休 館 日		毎月第 1 月曜日、8 月 13 日から 16 日まで、12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで			
	使用料	区 分	市内に住所を有する者		左記以外の者	
			研修室を利用し、入浴する者	入浴のみの者	研修室を利用し、入浴する者	入浴のみの者
		60 歳以上、障害者	100 円	100 円	590 円	430 円
		中学生以上	480 円	310 円	590 円	430 円
安代老人憩の家	使用 時 間		午前 10 時から午後 6 時まで（入浴時間も同じ）			
	休 館 日		毎週日・月曜日、8 月 13 日から 16 日まで、12 月 28 日から翌年 1 月 4 日まで、国民の休日			
	使用料	区 分	市内に住所を有する者		左記以外の者	
			大広間または和室を利用し、入浴する者	入浴のみの者	大広間または和室を利用し、入浴する者	入浴のみの者
		60 歳以上、障害者	無料	無料	300 円	150 円
		中学生以上	300 円	150 円	500 円	250 円
小学生	100 円	50 円	200 円	100 円		



個別浄化槽の設置について、詳しくは市役所上下水道部にお問い合わせください

泉でもなく、高齢者の使用料も無料となっているが、設備が整備されていない。今後の整備予定は。

答 整備は必要であると認識しているが、財政状況など全体的な調整をしながら進めたい。

▼八幡平市個別浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例

標準事業費を見直し、受益者分担金や使用料の統一を図るものです。5人槽の場合、分担金限度額9万9000円、使用料が月3780円となります。

問 個別浄化槽の負担金の決め方として、利用者の人数に応じて浄化槽規模が決まるのではなく、住宅の床面積で決めるのは実態に合

表3 個別浄化槽における分担金限度額や月額使用料など

人槽区分	標準事業費	分担金限度額	月額使用料
5人槽	909,000円	90,900円	3,780円
6人槽～7人槽	1,104,000円	110,400円	4,410円
8人槽～10人槽	1,446,000円	144,600円	5,040円
11人槽以上	別に定める		

わない決め方だ。例えば3人家族の場合、農業集落排水が設置されている住民とそうでない住民との間には、場合によっては利用負担に2倍の差がある。不公平だと言わざるを得ないが。

答 現に2人しか住んでいなくても大きな家ということとは、将来家族が増えるという考え方である。市で公共下水道、農業集落排水、個別浄化槽の料金も総合的に勘案して料金設定したい。

行政報告

◎株式会社コスモプラザ西根

- ▼新役員を昨年12月26日に決定
- ▼重油高騰で経費が500万円増加
- ▼岩手山焼走り国際交流村の利用者は10万4000人（前年度比13%減）
- ▼道の駅にしね生産直売施設の利用者は31万8000人（前年度比1%増）
- ▼単年度で初めて1691万円の赤字決算となったが、出資金融機関の引き揚げを招かないための経営判断で、累積赤字から株主配当を実施した。

◎八幡平温泉開発株式会社

- ▼単年度で620万円の黒字決算
- ▼営業益が伸びた要因は、不動産の土地売り上げによるもの
- ▼トラウトガーデンの経営は、株式会社松尾ふるさと振興公社に経営委託していたが、今年4月から直営とした。
- ▼給湯業務で、引湯管2系列の更新と、道路改良工事に伴う引湯管移設に係る費用について、給湯補償金（預かり金）の一部を運用したい。

- ▼ミネラルウォーター製造施設は廃止するが、放置する考えではない。新たな受け入れ先を探す。
- ▼給湯料の値上げは避ける。

◎株式会社松尾ふるさと振興公社

- ▼なかやま荘、ほろほろ鳥、物産館、トラウトガーデン、ミネラルウォーターの業務で単年度2614万円の赤字
- ▼ミネラルウォーター事業は廃止



郷土の新酒と食のゆうべ（写真）をはじめ、催しなどで営業努力に務める第3セクター

◎株式会社安代産業振興公社

- ▼764万円の赤字
- ▼テレトラックでは山ブドウ製品販売や宴会などで収益が上がっているが、温泉館、安代林業センターでは苦戦
- 安代産業振興公社が今まで安代町から受託していた庁舎清掃などの管理業務は、入札の結果、民間委託された。

◎社団法人西根町体育協会

- ▼平成18年4月1日、松尾村体育協会、安代町体育協会と合併し、社団法人八幡平市体育協会が発足

◎平成17年度八幡平市一般会計繰越明許費繰越計算書

- ▼市道松久保線整備事業や松尾中学校屋内運動場整備事業など7件、5億4513万9000円を繰り越し

◎平成17年度八幡平市農業集落排水事業特別会計繰越明許費繰越計算書

- ▼平館・寺田南地区農業集落排水事業の舗装本復旧工事2件、4200万5000円を繰り越し

今回質問した項目

- ・中心市街地活性化について
- ・安比地区地熱開発の今後の取り組み
- ・特定中山間保全整備事業について
- ・道路建設等公共事業に伴う取得用地の未登記について



小笠原 壽 男 議員

聞きたい

中心市街地の活性化をどう図るか

地区の特性生かした活動に市が支援

小笠原議員 大更、荒屋新町両地区のTMO（中心市街地活性化）事業内容は、

また19年度以降の事業をどのように進めるか。

荒屋新町地区商店街は営業継続が困難で閉店する店舗が多い。どのようにして活性化を図るか。

市長 大更地区では、空き店舗を利用した「トク・トク・戸板まつり」、支障電柱の移設などを行う「歩行者空間整備事業」などを計画している。また、荒屋新町地区では、駅前環境美化などの「花でまちづくり」、買い物金額に応じたタクシー助成券を発行する「まちへ行くか事業」などを計画している。

まちづくり関係法律の改正で従来のTMO事業の継続は厳しい。市として18年度事業を継続し商店街活性化を支援する。

多くの住民期待する安比地区の地熱発電

小笠原議員 多くの住民が、安比地区の地熱発電に期待している。市長の考えは。

市長 今後の具体的計画は示されていないが、地熱発電事業は本市にとって効果が高い事業と認識している。実現可能となれば環境整備など支援する必要がある。

特定中山間保全整備事業で道路など充実

小笠原議員 特定中山間保全整備事業で農業基盤整備および道路、河川整備が遅れている地区を対象区域に含めるべきと考えるが、市として事業推進の考えは。

市長 この事業については、本年度から3カ年、国が基

本調査を行う。今後進める調査で関係住民の意向調査が行われる。受益者の意向を的確にとらえ、地域基盤整備に取り組む。

取得用地の未登記は財産管理に支障来す

小笠原議員 道路整備などの公共事業実施に伴って取得した用地の未登記物件があると聞くと、実数はいくらか。また未登記によって隣接地の転用の際の費用負担について支障が出ると予想されるが、市はどう対応するか。未登記処理のため計画的な予算措置の必要があると考えるがどうか。

市長 未登記の総数は市道、農道関係で810件、林道は総延長に対し15%登記されている状況だ。未登記によって所有地の境界が画定

せず互いの財産管理が出来ず迷惑を掛けている。未登記物件を減らすため登記事務職員を配置、あるいは業務委託を検討し、財産の健全管理に務める。



荒屋新町の中心街地を彩るハンギングバスケット

一般質問 ここが



小野寺 昭一 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・観光振興について
- ・西根老人憩の家運営について
- ・生活路線バス運行について

十和田八幡平国立公園の観光振興対策

広域的な観光振興を図る

本市の観光を担う社団法人八幡平市観光協会



小野寺議員 十和田八幡平国立公園は、昭和11年2月1日指定の十和田八甲田地域（面積4万4920ヘクタール）と、昭和31年7月10日指定

の八幡平地域（面積4万4911ヘクタール）に分けられるが、八幡平地域は指定50周年を迎え、焼走り熔岩流など、八幡平市を全国に発信する

絶好のチャンスである。観光振興策について伺う。
市長 八幡平地域は、貴重な高山植物や自然に恵まれ、四季折々の自然がそのままの姿をとどめている全国でも有数の地域であり、松尾鉱山跡地という産業遺産的な面も今後の観光PRの大きな材料になると思っている。八幡平市にとって、観光振興は重要な課題であるという認識の下、本年度から職員2人を派遣して観光協会を強化し、広域的な観光振興を図ってまいりたい。

「西根老人憩の家」の現状と直営化の内容

小野寺議員 西根老人憩の家は、八幡平市の直営になると聞いているが、時期、事業運営の現状と職員の処遇について伺う。

市長 西根老人憩の家については、西根福祉施設協会の臨時総会などで協議しており、7月1日からの直営に向け諸準備を進めている。流霞荘の宿泊施設は年々利用者数が減少傾向にあることから、宿泊は廃止し、施設は老人福祉事業などに広

く活用して適切な管理運営を目指すこととしている。

職員の処遇については、市の臨時職員として採用し、臨時的任用職員取り扱い要領などを適用したい。

生活路線バス運休の理由と今後の対応策

小野寺議員 4月22日から、ゲンデルランド発の生活路線バスが、土・日曜日と祝日は運休となり、不便を来している。運休の理由と今後の対策を伺う。

市長 生活路線の廃止代替バスは、民間バス会社に西根・松尾両地区で計5路線の運行をお願いしている。バス運行に伴う補助額は、17年度で1311万1千円余りとなっており、厳しい財政状況の下、経費節減に伴う圧縮を図るため、比較的用户者の少ない土・日曜日と祝日を4月22日から運休したものである。今後の計画としては、高齢者などの交通弱者に対する交通手段の確保に配慮しながら、だれでも利用できる総合的な公共交通システムの構築に向けて調査検討している。



三浦 正信 議員

今回質問した項目

- ・いわて森林づくり県民税について
- ・樹皮（針葉樹）の処理対策について

いわて森林づくり県民税に期待する効果

重要性の再認識と意識の醸成

三浦議員 4月スタートの

いわて森林づくり県民税の実施主体は県であるが、市のかかわる内容は何か。また、市内の納税予定額は。

市長 県の協力要請による事務の推進、具体的には県と森林所有者との連絡調整が主な業務で、個人分124万2000円、法人分100万円を見込んでいます。

三浦議員 事業内容と主な使用道は。

市長 公益的機能の持続的発揮が求められる公益林のうち、管理不十分な森林を県が所有者に代わって整備する事業である。主な使用道は、強度間伐（間伐の割合を多くする間伐）による混合林への転換、地域力を生かした森林整備の公募、支援事業などである。

三浦議員 森林整備の公募や支援を促進するとなつて

いるが、場所や面積要件は。

市長 対象森林は、生態系保全林、生活環境保全林、県土水源保全林とされている。面積要件は特に定めていないが、1団体原則100万円以内の補助である。

三浦議員 混合林への転換に誘導するのは何年齢の人工林か。

市長 原則4年齢から9年齢までが対象となっている。

三浦議員 事業評価委員会を設置するところがあるが、その業務と構成は。

市長 業務は施行地選定や調査、投資効果の評価、検証と広報・周知活動であり、委員構成は、学識経験者7人、公募3人となっている。

三浦議員 盛岡地方振興局管内と本市における対象面積はどれぐらいの予想か。

市長 盛岡地方振興局管内は2100ha、本市は81

0haとなっている。

三浦議員 事業実施に当たり、一般競争入札をするところ聞かすが、いかがか。また、予想される団体などは。

市長 県では、森林組合、建設会社および地域の方々を対象とした指名競争入札の方向で検討している。

三浦議員 この事業に市として期待する効果は。

市長 森林所有者には、豊かな県民の森づくりの緊急かつ重要性の再認識が図られ、納税者には、森は木材生産のほか、豊かな水をはぐくみ、二酸化炭素の吸収、地球温暖化防止など、多大な恩恵を与えているという意識の醸成に期待する。

針葉樹の樹皮処理に市として対策が必要

三浦議員 針葉樹の樹皮の



いわて森林づくり県民税は、県民1人当たり1,000円が従来の個人県民税と一緒に課税され、県内の森林整備に役立てられます

処理方法について、市として何らかの対策が必要と考えるが。

市長 森林の重要性を見た場合、ぜひ解決しなければならぬ事と認識している。広く林業関係者の意見を聞きながら考えていきたい。

一般質問 ここが



山本 栄 議員
さかえ

聞きたい

今回質問した項目

- ・介護保険について
- ・まちづくり支援について

制限・抑制しない介護サービスの対応を

介護予防に努力していく



山本議員 改正介護保険法が今年4月に実施となった。介護予防事業が組み込まれ

るが、必要なサービスを制限・抑制しない対応が必要である。地域包括支援セン

介護予防は、これからの福祉事業で中心的役割を果たすことが求められます（写真・介護老人保健施設 希望）

ターの体制を伺う。また、ケアプランの作成状況と「新予防給付」の対象人数、本年度実施する事業を伺う。

市長 地域包括支援センタ

ーは保健師2人、社会福祉士1人、事務職員2人の体制である。ケアプランの作成は、一部市内事業所に業務委託しており、5月末現在、要支援94人中76人分を作成、18人からは依頼が無かった。新予防給付者は、1年間で約450人を見込んでいる。7月から一般高齢者対象に月3回高齢者健康教室を開催し、軽体操などを行うほか、11月から特定高齢者の教室を行う。

山本議員 要介護1から「要支援1、2」に変更された人数を伺う。

市長 要介護1だった39人は、全員要支援となった。

山本議員 デイサービス利用が制限されている状況がある。利用希望に沿う対応と、要介護認定から漏れ、従来の介護サービスが受けられなくなった人を救済する生活支援サービスを行うべきと思う。また、宅老所を設置する考えはないか。

市長 サービス利用者は、

ケアマネジャーに相談し納得いくプランの策定をしていただきたい。宅老所設置については今後検討したい。

地域振興基金などでまちづくりに支援を

山本議員 安代地区のすべてに結成された地域振興会に、安代総合支所が支援すべきと思う。また、八幡平市地域振興基金の活用方法、内容を伺う。

市長 各振興協議会は主体的に協議していただきたい。基金は、18年度までに1億5000万円造成し、10年間で各年度、西根地区700万円、松尾地区、安代地区各400万円配分し、まちづくりを支援する

山本議員 安代地区行政区の見直しを本年度に行うとしているが、見直しを伺う。

市長 意見交換、懇談会などをしながら進める。

山本議員 安代地区対象のまちづくり活動支援事業は本年度200万円の予定だが、申し込みが多い場合は追加補正をすべきと思う。

市長 当該事業の補正は見込んでいない。

今回質問した項目

- ・子ども110番について
- ・スクールバスについて
- ・防災無線について



高橋 守 議員

聞きたい

マグネットプレートによる防犯活動

警察や学校などと相談して検討

高橋議員 子ども110番のステッカー配布は、管内の警察ではどのような対応になっているか。また、市の協力体制はどうなっているのか。

市長 岩手警察署では北岩手地区防犯協会連合会などと協力し、平成10年から子ども110番の家を設置しているところである。

高橋議員 今後、自動車用マグネットプレートを導入・活用した市内全域での啓発活動を展開する考えはないか。また、交通指導隊や防犯隊などの啓発のほか、子ども110番事業を根付かせるため、公用車にプレートを張り付けてはいかがか。

市長 マグネットプレート導入については、警察や学校などと相談して、導入できるかどうか検討してまい

りたいと考えている。公用車については、平成16年に当時の西根町で公用車11台にSO S子ども110番協力の車プレートを付けて啓発をした経緯がある。公用車の一定の車両にプレートを張り付けた啓発のほか、青色回転灯を装備した車両により、広報活動をより深く実施してまいりたいと考えている。

スクールバスによる各種大会などの送迎

高橋議員 一部地域で昨年まで、スポーツ少年団などの遠征にスクールバスによる送迎が行われていたようだが、その実態について、また、本年度はどのようになるのかについて伺う。

教育長 スクールバスの運行については、スポーツ少

年団とか、あるいは社会教育諸団体には貸し出しをしていないのが実態である。昨年度は、一部地区での取り扱いに差異があった部分があった。今後は公平性をもって、学校行事を中心に、あるものは有効に使っていただきたい。その場合には、公平性を保たなければと考えている。

防災無線が未設置の公民館に小型拡声器

高橋議員 防災無線が設置されていない自治公民館、または地区公民館に小型のスピーカーなどの設置はできないものか。

市長 小型スピーカーの設置は、一般家庭同様、施設内での聞き取り状況などを見極めていく必要があるものと考えている。



登下校における児童の安全確保は、地域全体で取り組む問題です(写真・大更小学校)

一般質問 ここが



えつ ろう
高橋悦郎 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・障害者自立支援法について
- ・大更中心部のまちづくりについて

大更西線の周辺整備は

幹線道と位置付け支線整備図る



一部区間の使用が始まった大更西線。今後の基幹道路の一つとして大きな期待が寄せられます

高橋議員 西根バイパス1期工事、市道大更西線の完成が間近となっている。大更中心部のまちづくりにとって、この二つの基幹道路

をいかに有効活用していくのが問われているが、市の考えは。
市長 西根バイパスからJR大更駅へ向かう路線を早

急に整備していく必要があると考えている。大更西線を基幹道路として生かすためには、支線道路の整備は欠かせないので、その整備を進めたい。

産業建設部長 支線については曲がった道路を真っすぐにすることも含め、地域の住民と良く話し合い進めたい。

企画総務部長 大更西線は新設道路であり、街路灯については順次整備していく。

新大更公民館に対し 会議室望む声高まる

高橋議員 大更公民館の新築について、地元説明会も開催された。その中で会議室を増やしてほしいという声が多かったが、その後の当局の協議は。市の負担を増やせば、会議室などの増設は可能か。

教育次長 今、内部で協議している。具体的協議内容については、次の説明会で示したい。

企画総務部長 公民館の面積を増やすことには特に規制はない。ただ、その分地元負担が増えることになる。

障害者自立支援法の 利用者に軽減措置を

高橋議員 新法の施行により、市は障害者に関するサ

ービス利用の支給決定、地域生活支援事業の具体化、障害者福祉計画の策定などを進めることになる。障害者施設の利用希望者に対応していくために、民間の障害者施設との協力体制、その施設への支援が求められるがその考えは。新法はサービス利用者に一律に1割の負担を課すことになっており、このことが懸念されている。市独自の軽減策の考えは。

市長 新法施行に伴い、NPOなどの法人格を持った民間団体が運営主体として参入できることになった。市としても利用者へのサービス向上の観点から、これらの団体の参入について協力支援を図っていく。利用者負担については、負担額の上限設定や減免制度があり配慮されている。一定の負担をしていただくのが新制度の基本なので、独自の軽減策は考えていない。



米田 定男 議員

今回質問した項目

・市町村合併問題について

県の新合併構想への対応は

八幡平市のまちづくりに全力

米田議員 県は、本市と岩手町、葛巻町との新たな合併構想を打ち出したが、この構想に市としてどう対応するのか。

市長 総合計画の策定や、新たな住民協働のまちづくりの構築など、今まきに出発しようとしている。だから現在は、新たな合併構想に取り組みより、八幡平市としての新しいまちづくりに全力を上げるのが一番必要であり、重要であると考えている。

米田議員 自治体の地域づくりの指針は、総合計画であり、それは10年間を見通したものである。その計画の基盤は合併協議会が策定した新市建設計画である。この建設計画の内容は、近い将来の再合併を全く想定していないことは、例えば5年後をめどに新庁舎建設

をうたっていることでも明白である。問題は、この新市建設計画の策定について、県は合併協議会委員として直接参画していることである。つまり、一方では近い将来の再合併を全く想定しない自治体づくりの計画策定に参加し、一方では合併後1年も経過しないうちに再合併の方針打ち出しという全く矛盾した態度である。見解を伺う。

市長 指摘のとおり、新市建設計画は近々再合併する内容となっていない。

県による新たな合併審議会の最初の会議で意見を求められた時には、県の一貫性の無さをきつく話をした。また合併の理由づけになっっている経済圏、生活圏についても矛盾があることを話した。

米田議員 合併問題を判断

する場合に、単に効率性という側面だけから見ればいい。住民の暮らしを守る上での自治体の存在意義はどこにあるのか、住民の暮らしや地域づくりを前進させる立場から合併問題を判断するべきである。見解を伺う。

市長 地域の実態、住民の暮らしや交流の状況、あるいは経済活動など、自治体全体をしっかりと踏まえた立場で行政を進めるべきと考えている。

米田議員 合併の判断については、住民の意思を尊重する立場で対応することが何よりも重要ではないか。見解を伺う。

市長 正しい情報を提供しながら、住民の幅広い声を把握して、住民とともに地域の発展のため頑張りたい。



平成17年1月13日に行われた西根町・松尾村・安代町合併協定調印式

一般質問 ここが



古川 津 好 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・学習院校舎跡地と御在所園地周辺の整備について
- ・松尾鉱山資料群の産業遺産認定について
- ・法務局西根出張所の廃止について
- ・市営住宅の管理について

御在所周辺の整備で観光振興

産業遺産認定を機に総合的に施策構築

八幡平スキー場の東側に広がる御在所沼。7月20日には、市文化財保護審議委員の皆さんが視察を行いました(円内)



古川議員 学習院八幡平松尾校舎が市に返還されることに伴う跡地の公園化と御在所園地の整備計画はどのような内容か。加えて松尾鉱山の資料群が全国で72件目、県内2件目の産業遺産の認定を受けたが、この機会

に、松尾鉱山の廃屋アパート群の保存なども含めて、周辺を一体として整備し観光振興に結び付けられないか。また、御在所園地内の五色沼は、沼の水の色が状況によっていろいろ変化する事から、世界的にも類をみ

ない沼と評価されている。市の記念物には指定できないか。

市長 学習院八幡平松尾校舎跡地の公園は、過大な投資をせず、自然を残した形にしたい。御在所園地は、木歩道のかさ上げ補修などを継続するとともに、周辺案内板には鉱山の歴史的経過や跡地の説明、そして産業遺産の認定を受けた鉱山資料群の説明も加えたい。いずれ鉱山は後世に語り継ぐべき財産であるとの認識のもと、多くの人々に訪問していただく施設として考えたい。また、自然や中和処理施設などを含め、総合的な観光施策を構築したい。五色沼の記念物指定については、市の条例に照らしながら、文化財保護審議委員の方々と調査の上に対処したい。

法務局出張所廃止で市民が受ける影響は

古川議員 法務局西根出張所が廃止されることによる市民への影響や不便さを、どのように受け止めているか。

市長 今年10月ごろの廃止予定であり、登記や閲覧のためには、盛岡まで出向かなければならなくなる。市民、行政共にお金や時間がかかり大変だが、廃止まで少し時間があるので、良い方策を探したい。

市営住宅の利用者に配慮した管理や整備

古川議員 市営住宅でペットを飼っている方がおり、入居の条件から逸脱している状況のようだ。今後、ペットを飼える住宅の指定をすることの検討はしているか。

また、市営住宅のシャワー設備状況はどうか。

市長 ペットは飼育しないように指導しているが、高齢者の中には老後の生きがいとしている方もおり、一概に条例を振りかざせない状況である。もう少しばく時間をかけさせていただきたい。

市営住宅395戸のうち、シャワーを設置している住宅は65戸である。今後は、市総合計画実施計画に登載して、計画的な整備を図りたい。



勝又 紘一 議員

今回質問した項目

・森林整備の推進と里山（里地）の再生について

森林整備の推進と里山の再生

自然環境を重視した諸施策を進める

勝又議員 森林整備の推進と里山の再生について質問する。まず、特定中山間保全整備事業への対応を伺う。

市長 91億円の事業費で、一戸町、二戸市浄法寺地区、本市安代地区が主体の事業である。過大な期待をせず、慎重に見極めたいと思う。

勝又議員 森林整備と林産物の付加価値を高める森林認証の取得について伺う。

市長 森林所有者、関係団体の意見を聞き、この制度を検証しながら検討する。

勝又議員 雑木林の保全と人工林の自然林化と複層林への変換について伺う。

市長 いわての森林づくり県民税を財源に、強度間伐による針広混交林への転換事業の導入も図り、複層林造成に努力する。雑木の大事さ、自然に対する価値の高さを認識し保全に努める。

今、伐期を迎える人工林材の消費の面も行政として考える。

勝又議員 公的資金で人工林の間伐を行うことについて伺う。

市長 間伐補助金が削減されている。本来国策で税を取って森林保全に配分するシステムがベストであると考ええる。全国市長会、特に

も森林の多い東北市長会でも提言、要望していく。

勝又議員 広葉樹と人工林の間伐材の有効活用、林床の利活用について伺う。

市長 機会をとらえて普及を呼び掛け、地域産業に結び付けられるか検討したい。

勝又議員 川床などの床固めに広葉樹の枝束を用いる粗朶沈床法や、間伐材を用いる木工沈床法の復活について伺う。

市長 国の直轄砂防事業で、

ダム堰堤に木材を利用した工法が積極的に採用されている。今後可能な範囲で採用を働き掛けたい。市の工事でも木材利用の発注を検討する。

勝又議員 特用林産物の振興について伺う。

市長 地場産業振興を含め総合的に取り組む。

勝又議員 自然学習の場としての活用について伺う。

市長 環境保全と活用の両面から、既存の施設などを含め、内容に応じた学習の場を整備する。

勝又議員 木質バイオマスエネルギー利用システムの構築について伺う。

市長 新エネルギービジョンの策定に取り組み、関連産業の振興を図る。

勝又議員 生態系の再生について伺う。

市長 自然と調和した産業

の振興を図ってきた。今後、自然環境を重視した諸施策を進めたい。具体的指針

として、地域の動植物の生態系を損なわないよう保全計画に反映していく。



国が間伐材を利用して整備した砂防施設「岩手山焼走り床固め工群」

一般質問 ここが



田中 榮司夫 議員

聞きたい

今回質問した項目

- ・市の出生対策と人材育成
- ・義務教育における安全性の確保
- ・市の特色あるスポーツ対策

市の発展は人口増にあるのでは

安心して育児できる環境つくる

子どもを安心して生み、育てるための環境整備が大切です（写真・森の子保育園）



田中議員 市の将来的発展は、人口増（出生率向上）と人材育成（有能）にあると思われる。市長の体系的

見解を伺いたい。
市長 本市の出生対策についてであるが、過去3年間の人口移動状況を見ると、

平成14年から15年までの1年間に於ける転入・転出による社会増減と、出生・死亡による自然増減を合わせると年間308人の減少となり、過去3年間の合計では、実に1020人が減少している状況である。まさに少子化現象は社会の安定的な発展や子どもの社会性をはぐくむ上で積極的に歯止めをかける努力をしなければならぬ。本年度から少子化対策を特定課題として組織的充実を図るとともに、第3子以降の出産祝い金支給や保育料の無料化など、経済的な支援措置のほか、次世代育成支援行動計画に掲げる各種施策を推進しており、児童福祉の整備や学童保育の充実を図り、安心して子どもを産み育てる環境づくりに一層努力する所存である。

田中議員 子育て支援対策について、もっと踏み込んだ決意を伺いたい。

市長 雇用があれば人口が増えてくるので、雇用に向けて努力したい。企業誘致対策監を設けて企業誘致に万全を期し、人口減に歯止めをかけたい。新たに少子

化対策監を設けて少子化対策に強力に対応していきたいと考えている。

校舎内や登下校時の安全対策の徹底望む

田中議員 最近、子どもが犠牲となる悲惨な事件が起きており、義務教育も今日安心できない現実である。教育環境の全体的安全対策について伺いたい。安心して学習できる校舎管理、防災対策はどうなっているか。また、誘拐などに対する登下校の全般的な安全対策についてはどうか。

教育長 学校の安全確保は極めて重要である。校舎の危険箇所には防犯カメラの設置を行うとともに、不審者の侵入対処訓練や職員防犯研修などの対策を講じている。登下校の安全対策については、通学路の危険箇所の総点検や通学路安全マップの作成のほか、街頭指導の実施や地域住民の見守り活動への協力要請、防犯鈴の所持による子どもの存在を知らせる取り組みなど、それぞれに創意工夫を凝らして安全確保に努めている。



大和田 順一 議員

今回質問した項目

- ・企業誘致と雇用の場の創出について
- ・子どもの安全対策の取り組みについて

企業誘致と雇用創出の対策

恵まれた環境活用し積極的に推進

大和田議員 企業誘致と雇用の創出が若者の定住化促進に不可欠と思う。企業誘致対策と見通しは。

市長 現在の工業団地を積極的に案内しているが、松尾団地（鬼清水工業団地）以外は少面積であり、適地調査を予定している。情報収集では、市内外企業の戸別訪問を行うほか、全国ネットで進出情報を基にダイレクトメールを実施するなど、県や関係機関と連携を密にしながら、本市の恵まれた環境を活用した誘致を積極的に推進したい。

大和田議員 第3セクターの位置付けと在り方、品目横断的安定対策による就業形態変化をどうとらえるか。

市長 第3セクターは4社とも厳しい経営状況だが、地産地消、地域活性化や雇用の場の役割などを考慮し

ながらも、早急に民営化を含む統廃合などの検討と指導に努めたい。農業振興では、意欲ある担い手を中心とする農業の確立が喫緊の課題で、その対策を軌道に乗せ、新たな雇用の場の確保と経営の安定が図られるよう努力したい。

大和田議員 観光客増加に向けた施策推進で、関連産業の雇用創出の考えを伺う。
市長 観光客増加に向けては、新たなニーズの多様化に対応し関係団体と連携推進したい。今後は市の利点をアピールし、優良企業誘致を図り、地域資源を生かした新産業創出の促進に努め、雇用拡大に資したい。

地域見守り隊設立し子どもの安全を確保

大和田議員 登下校時の安

全確保と見守り、不審者警戒のために、特に、高齢者の方々と地域の協力をいただき、「地域見守り隊」の設立はどうか。

教育長 登下校時に地域の方々に目配りいただくことが大事で、老人クラブや教育振興運動の組織などと学校が連携を図るよう呼び掛けていきたい。地域見守り隊の設立になれば、学校としても大変心強いことだと考えている。

大和田議員 保育所や幼稚園なども含めた学校ごとの安全マップを作成し、地域で子どもの安全を守り育てる環境づくりを推進してはどうか。

教育長 各学校で通学路安全マップを作成活用することとしているが、保育所なども含めることは地域全体の意識高揚に有意義であり、

特に地域と防犯隊、交通指導隊との連携で充実した取り組みが期待される。市内全域で子どもの安全対策が一層推進されるよう、積極的に取り組みたい。



誘致企業の進出を待つ鬼清水工業団地（東北自動車道松尾八幡平IC隣）

請願・発議案

全12件を採択・可決

6月定例会では、請願5件、議員による発議案7件が提出され、審議の結果、いずれも採択・可決されました。審議した請願・発議案は次のとおりです。

◎「市道日影山蟹沢線と市道植立水沢線の交差点に信号機の設置を求める請願」
(請願者・下平笠農家組合)

この請願は、同交差点における安全確保を目的に提出されたものです。(全会一致で採択)

◎「品目横断的経営安定対策」にかかわる請願」(請願者・農民運動若手県連合会)

この請願は、品目横断的経営安定対策を、地域の実情を踏まえて見直すことなどを目的に提出されたものです。(全会一致で採択。併せて発議案が可決され、内閣総理大臣と総務大臣に意見書を提出)

◎「住民の暮らしを守り、公共サービス拡充を求める請願」(請願者・若手県労働組合連合会)

この請願は、住民生活や安全にかかわる公共サービス

合会

この請願は、輸入再開直後に再度輸入が停止されたアメリカ産牛肉に対し、安全が確認されないまま輸入再開しないことを求めて提出されたものです。(全会一致で採択。併せて発議案が可決され、内閣総理大臣と関係大臣に意見書を提出)

◎「私学教育を充実・発展させるための請願」(請願者・私学助成要求実現若手県実行委員会)

この請願は、私立高校に対する助成金の充実を目的に提出されたものです。(全会一致で採択。併せて発議案が可決され、衆・参両議員議長と関係大臣および岩

◎「基地対策予算の増額等を求める意見書」

この発議案は、自衛隊やアメリカ軍の施設が所在する市町村に対して交付している基地交付金や調整交付金の適切な予算措置を国に求めるものです。(全会一致で可決され、内閣総理大臣および関係大臣などに意見書を提出)

手県知事に意見書を提出)
◎「市長の専決処分事項の指定について」

この発議案は、交通事故に係る事後対応の迅速化を図るため、損害賠償金額が1件につき50万円以下の示談は市長が専決処分できることとするものです。

◎「基地対策予算の増額等を求める意見書」

この発議案は、自衛隊やアメリカ軍の施設が所在する市町村に対して交付している基地交付金や調整交付金の適切な予算措置を国に求めるものです。(全会一致で可決され、内閣総理大臣および関係大臣などに意見書を提出)



信号機設置の請願が出された市道日影山蟹沢線と市道植立水沢線の交差点。場所は、いこいの村岩手から松尾方面に向かって約1km進んだ地点です

議会の動き(6月～7月)

◎6月

- ▶ 1日 八幡平市企業懇談会総会(議長ほか)
- ▶ 3日 久慈市合併記念式典(議長)
- ▶ 4日 西根ふるさと会総会(議長)
- ▶ 4日 七時雨体験観光施設開所式典(副議長ほか)
- ▶ 6日 議会運営委員会
- ▶ 9日 北方領土返還要求運動県民会議総会(議長)
- ▶ 10日 第18回ツール・ド・モリオカ・ステージA P P I大会前夜祭(議長)
- ▶ 11日 ふるさと松尾会総会(副議長)
- ▶ 12日 知事と市町村長との個別対話(議長)
- ▶ 12日 会派代表者会議
- ▶ 14～19日 市議会6月定例会
- ▶ 14日 議会政務調査会理事会
- ▶ 15日 議会広報特別委員会
- ▶ 18日 岩手駐屯地創立49周年記念式典(議長)
- ▶ 25日 八幡平市消防演習(議長ほか)
- ▶ 26日 議会広報特別委員会
- ▶ 28日 八幡平山系に係る直轄砂防事業促進期同盟会総会(議長)
- ▶ 28日 北奥羽開発促進協議会定例総会(副議長)
- ▶ 29日 J R花輪線整備促進期同盟会総会(議長)

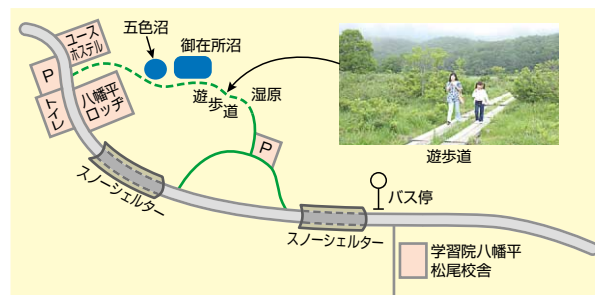
◎7月

- ▶ 1日 岩手山山開き(議長)
- ▶ 3日 雫石東八幡平奥地産業開発道路促進協議会総会(議長ほか)
- ▶ 4日 議会広報特別委員会
- ▶ 5日 八幡平市商工会合併記念式典(議長ほか)
- ▶ 5日 議会議員全員協議会
- ▶ 7日 会派代表者会議
- ▶ 7日 あっぴりレーマラソン実行委員会(副議長)
- ▶ 9日 柏台小学校公立移管50周年記念式典(議長)
- ▶ 10日 知事等に対する実行運動(議長)
- ▶ 14日 県選出国會議員等に対する実行運動(議長)
- ▶ 19日 議会広報特別委員会
- ▶ 20・21日 第1回八幡平市畜産共進会(議長ほか)
- ▶ 21日 議会運営委員会
- ▶ 27日 市議会第4回臨時会



隠れた名所探訪① 八幡平・五色沼

四季に応じて、湖水の色が変化する五色沼。鉾山の鉾脈と、温泉の湯脈から影響を受けた地下水が湖底からわき出ているため、湖水の色は、この水に含まれる鉄分や硫黄分の酸化によるものです。酸化の度合いは、バクテリアの活動条件によって変わるため、主として、初夏は白濁した青色、夏後半は澄んだ青色、秋から春にかけては黄褐色になります。（場所：主要地方道西根八幡平線、八幡平ロッジまたは学習院前バス停から徒歩15分）



合併で誕生した「八幡平市」の議会活動を、市民の皆さんにどのように伝えるか、その在り方を常に意識して臨まなければならぬと注意しています。

広報委員会では、議会における議案の審議について事実を広報すること

町村合併以前の安代町議会で「あしろ議会だより」の広報委員を担当し、八幡平市議会において「はちまんたい議会だより」の広報編集に携わり、その責任の大きさを痛感しています。

広報に携わる間に、できれば「色は匂へど散りぬるを、我が世誰ぞ常ならむ、有為の奥山今日越えて、浅き夢見し酔ひもせず」のいろはの歌にちなむ議会活動の記事編集に巡り合いたいものだと思います。ながら、広報委員にな

副委員長 三浦榮吉



三浦 榮吉

あとがき

を基本にしています。発言を記事にし、関係する写真の撮影に出掛けては現場の方々のお話を聴くことも大切になっています。IT化が促進され、情報が早く市民に伝えられることが重要視されてきました。議会における審議状況を各家庭のテレビで放映している自治体もあります。近い将来には、八幡平市の広報活動もテレビで放送することが可能となるかもしれません。

表紙紹介

西根地区田頭で4世代、8人で暮らす渡邊寛美さんのご家族です。（前列左から父の寛榮さん、孫の梨真ちゃん・美桜ちゃん、母のヒデオさん。後列左から長男の真紀夫さんとその妻の芙美子さん、妻のイネ子さん、寛美さん）